別紙1

平成１５年度事務事業評価調書（継続用）

北広島市

整理番号	23-8	事務事業名	緑化推進事業	作成部署	建設部都市整備課	電話	内線778
事務区分	■自治事務　□法定受託事務	部長職名	赤沼正三	課長職名	児玉正輝	作成日	平成15年7月
事務事業開始年度	H６	根拠法令等	なし				
〃 終了予定年度							
事務事業開始のきっかけ（導入当初の目的等）	緑化の普及とともに『花と緑を大切にする心を育てる』ことを目的に当該事業を開始した。						

1 計 画 （プラン）

上位施策との関連（総合計画での位置付け）	章	環境と共生する快適なまち	（第　2　章）
	節	自然と緑と公園	（第　1　節）
	施策	自然･緑の保全と育成	（第　1　施策）
目　的（ここから成果指標を導きます）	対　象（誰、又は何を）	○自治会･町内会　○当該年度に出生した新生児　○花の愛好会	
	意　図（何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか）	市民の参加により公共の施設･道路敷地等を中心に植樹、植栽を実施し、また「花のまちコンクール」や「誕生記念樹」の贈呈を実施し、美しいまちづくりの推進を図る。	
手　段（ここから活動指標を導きます）	市が行った（行う）事務事業の具体的な実施内容（※補助金等の場合は団体等の活動内容）	14年度まで	○当該年度に出生した新生児に「誕生記念樹」を贈呈。 ○「花のまちコンクール」の開催。 ○「北広島市緑化推進委員会」交付金事業（花いっぱい運動･市民植樹祭の実施）
		15年度	○当該年度に出生した新生児に「誕生記念樹」を贈呈。 ○「花のまちコンクール」を10周年記念事業として実施。 ○「北広島市緑化推進委員会」交付金事業（花いっぱい運動･市民植樹祭の実施） ○「第3回園芸福祉全国大会in北海道」を記念事業として実施。 ○石狩川流域300万本植樹の推進。

2 実 施 （ドゥ）

【事業費の推移】

（単位：千円）

	区　分	１３年度（決算）	１４年度（決算）	１５年度（予算）	１６年度（予定）
直接事業費	国支出金				
	道支出金	98		15	15
	地方債				
	その他特財	4,796	5,928	6,989	6,989
	一般財源	1,106			
	①合　計	6,000	5,928	7,004	7,004
人　件　費（概算）	②人　数（年間）	1.00	1.00	1.50	1.00
	③1人当り年間平均人件費	9,235	9,000	9,000	9,000
	④＝②×③	9,235	9,000	13,500	9,000
総　事　業　費 ①＋④		15,235	14,928	20,504	16,004

【事務事業を評価する指標（ものさし）】

指　標	指　標(算式)	指　標　値			
		１３年度	１４年度	１５年度（目標）	１６年度（目標）
活動指標（事務事業の活動量や実績）	誕生記念樹贈呈件数	313件	314件	330件	330件
	花のまちｺﾝｸｰﾙ応募件数	123件	159件	200件	150件
	花いっぱい運動･市民植樹祭協力団体数	120件（協力団体数）	120件（協力団体数）	130件（協力団体数）	130件（協力団体数）
	第3回園芸福祉全国大会in北海道				
成果指標（目的の達成度を測るものさし）	誕生記念樹贈呈率	75%	80%	79%	79%
	（申込数÷誕生数）	（313件÷420人）	（314件÷394人）	（330件÷420人）	（330件÷420人）
	花いっぱい運動･市民植樹祭参加率	71%	71%	77%	77%
	（協力団体÷自治会数等）	（120÷170）	（120÷170）	（130÷170）	（130÷170）
効率指標（主要活動単位当たりコスト）	１活動事業数当りのコスト				
	（総事業費÷活動指標件数）	28千円	25千円	31千円	26千円

整理番号	23-8

3　評　価　（チェック）と改善（アクション）

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	市民と一体となり美しいまちづくりを実践する中で「花と緑を大切にする心を育てる」ことを目標に維持・管理も含めた事業の展開を図る必要がある。

【妥当性の評価と改善の方法等】

項　目	判　定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	■適切 □改善の余地あり(⇒改善の方法記入)	実施団体との連絡、調整はスムーズであり、市民参加のもとに美しいまちづくりが実践されていることから、行政の関与は適切である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	■適切 □改善の余地あり(⇒改善の方法記入)	「花と緑を大切にする心を育てる」ことを目標に市民と一体となった美しいまちづくり事業が展開されている。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	□適切 ■改善の余地あり(⇒改善の方法記入)	花によるまちづくりの推進については、一定程度効果は上がっているが、花苗等に統一性がないことから、配布による花苗について改善の余地がある。	公共道路等の植栽については、統一性を持たせるために、同種の花苗を植栽する方向で検討する。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	□適切 ■改善の余地あり(⇒改善の方法記入) □該当しない	補助事業開始の意図から、自治会町内会を中心とした市民参加に頼るところが大きいことから、現状では受益者負担は難しいと考える。	近年、実施団体からの花苗等の増量要望があることから、今後一定基準を設けることを検討する。

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項　目	判　定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	□十分成果が上がっている ■概ね成果が上がっている □あまり成果が上がっていない □成果が上がっていない	美しいまちづくり推進のための市民参加は定着してきており、補助事業開始の意図は概ね達成されている。	今後については、より積極的な市民参加を図ることで、さらに成果が期待できる。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト節減の方法はありませんか】	□十分効率的 ■概ね効率的 □やや非効率 □かなり非効率	緑化推進業務を達成するためのコスト配分は概ね効率的である。	今後については、植栽する花苗の種類を統一（7種類→2種類）し、契約栽培することで、コスト節減のための改善を図る。

【事務事業担当部局内優先度】

※部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

■A　□B　□C

4　総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判　定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記３の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	□拡大・重点化する □現状のまま継続する ■見直しの上で継続する □統合する(検討含む) □縮小する(検討含む) □廃止・休止する(検討含む) □終了	今後については、植栽する花苗の種類を統一し、契約栽培することで、コスト節減に努め、積極的な市民参加を呼びかけながら美しいまちづくりの推進を図る。

【2次評価】	判　定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	□拡大・重点化する □現状のまま継続する ■見直しの上で継続する □統合する(検討含む) □縮小する(検討含む) □廃止・休止する(検討含む) □終了	市域における緑の回復と保全を図る手段として、市と市民が一体となって都市緑化を推進することは大変意義がある。 今後、継続して市民参加の促進する仕組みづくりを検討していくとともに、コスト縮減余地についても創意工夫していく。 なお、補助算定基準の明確化を早急に整理するべきである。

付表

補助金･交付金交付先の状況説明書

【交付先団体等の概要】

補助金･交付金名	北広島市緑化推進委員会交付金
交付先の名称及び代表者名	「北広島市緑化推進委員会」 会長　下河原　昌司
構成員（団体）数	9団体･委員数12名
交付先団体等の活動目的と活動内容	「花と緑を大切にする心を育てる」ことを目的に、市民参加による美しいまちづくり事業を推進する。 ･市民植樹祭 ･花いっぱい運動（公園花壇･街路樹桝等の植栽） ･桜の管理、補植 ･リサイクルポット等による植樹

【交付先団体等の決算･予算の状況】

（単位：千円）

		13年度（決算）	14年度（決算）	15年度（予算）	
収　入	本市補助･交付金の額（A）	4,375	4,375	4,375	
	緑の募金	800	800	810	
	ゴルファー協力金	200	150	300	
	事業収入				
	その他（　　）	66	30	52	
	繰越金				
	収 入 合 計	5,441	5,355	5,537	
支　出	事務費	108	70	78	
	事業費	5,018	5,035	5,175	
	人件費				
	その他（緑の募金納入金）	315	250	284	
	繰越金				
	支 出 合 計（B）	5,441	5,355	5,537	
全体支出に対する本市補助･交付金の割合（A）÷（B）		80　%	82　%	79　%	
補助･交付金の対象経費（C）		5,441	5,355	5,537	
対象経費に対する補助･交付金の割合（A）÷（C）		80　%	82　%	79　%	
補助･交付金の算出根拠	定額				